



マサファルト 施工要領

■簡易散水工法 施工手順

- ① 施工場所の整正**
草木やその根等を除去します。
 - ② 不陸の調整・転圧**
舗装の場合には必要に応じて砕石を敷き、路盤の不陸調整及び転圧等を行い十分に強い地盤を作ります。
雑草防止の場合には施工場所にあわせてコテやローラーなどで十分に転圧します。
 - ③ 敷き均し**
施工厚を確認し、コテ等で押さえながら均一に敷き均します。
(標準4cm厚で1㎡あたりの使用量は約3.3袋)
 - ④ 1次散水**
霧吹き等で均一に表面が濡れる程度散水します。この散水で仕上げ面が出来上がりますので、目の細かいもので散水します。
 - ⑤ 2次散水**
1次散水から15分～30分後、冠水しない様にじょうろ等でたっぷり散水します。
(標準4cm厚で1㎡あたりの散水量は約7リットル)
 - ⑥ 養生**
そのまま固まるまで3日以上養生してください。
- ※防草用の工法です。歩行する場所は散水転圧工法で施工してください。
※ホースやバケツ等での多量散水は材料流出の原因となりますので行わないでください。



■散水転圧工法 施工手順

- ① 施工場所の整正**
草木やその根等を除去します。
 - ② 不陸の調整・転圧**
砕石を敷き、路盤の不陸調整・転圧等を行い十分に強い地盤を作ります。
 - ③ 敷き均し・転圧**
施工厚を確認しながら敷き均し、ローラーやコテ等で転圧します。ローラー転圧後は、コテ等でムラ直しを行ってください。
(標準4cm厚で1㎡あたりの使用量は約3.3袋)
 - ④ 1次散水**
霧吹き等で表面から15mm以上が均一に濡れる程度、数回に分けて冠水や材料流失ないように散水します。
(浸透水量をサンプル等で事前に確認してください。)
 - ⑤ 転圧**
1次散水後すみやかに、ローラーや金コテ等を使用して転圧します。
 - ⑥ 2次散水**
1次散水から15分～30分後、冠水しない様にじょうろ等でたっぷり散水します。
(標準4cm厚で1㎡あたりの散水量は約7リットル)
 - ⑦ 養生**
そのまま固まるまで3日以上養生してください。
- ※歩行する場所はこの工法で施工してください。
※ホースやバケツ等での多量散水は材料流出の原因となりますので行わないでください。



■仕様と使用目安



■マサファルトの仕様

比重	粒度	荷姿	7日		28日	
			曲げ強さ	圧縮強さ	曲げ強さ	圧縮強さ
約1.7Kg/L	3.0mm以下	20Kg/袋	1.05	2.61	1.95	4.43

■使用目安

施工厚	100㎡あたりの目安		
	30mm	40mm	50mm
使用量(20Kg/袋)	250袋	333袋	450袋

※数値は下地の条件などにより変化します。

＜注意事項＞
●簡易散水工法で施工した箇所を歩行するとポロポロと表面がとれることがありますが、自然土の風合いと質感を保持するためであり、歩行する場所は散水転圧工法で施工してください。●冬季の使用について気温5℃以下のときは施工を中止してください。●ホースやバケツ等での多量散水は材料流出の原因となりますので行わないでください。●自動車などの重物は施工面の上に乗せないでください。●散水後の施工面には触れないようにしてください。●夏季の施工時は散水を十分に行ってください。●散水量が不足と思われるときは追加散水してください。

●本カタログ掲載の商品の仕様・内容変更を予告なしに行う場合がございます。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

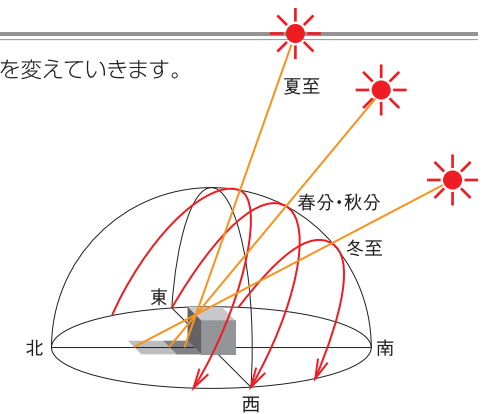
ソーラーライトの設置場所について

ソーラーライトを有効活用するためには、動作に必要なエネルギーが発電されるソーラーに、四季を通じて直射日光が充分あたる設置場所であることが条件になります。特に南中高度が低くなり、充電条件の良い冬場を考慮して設置場所を決めてください。

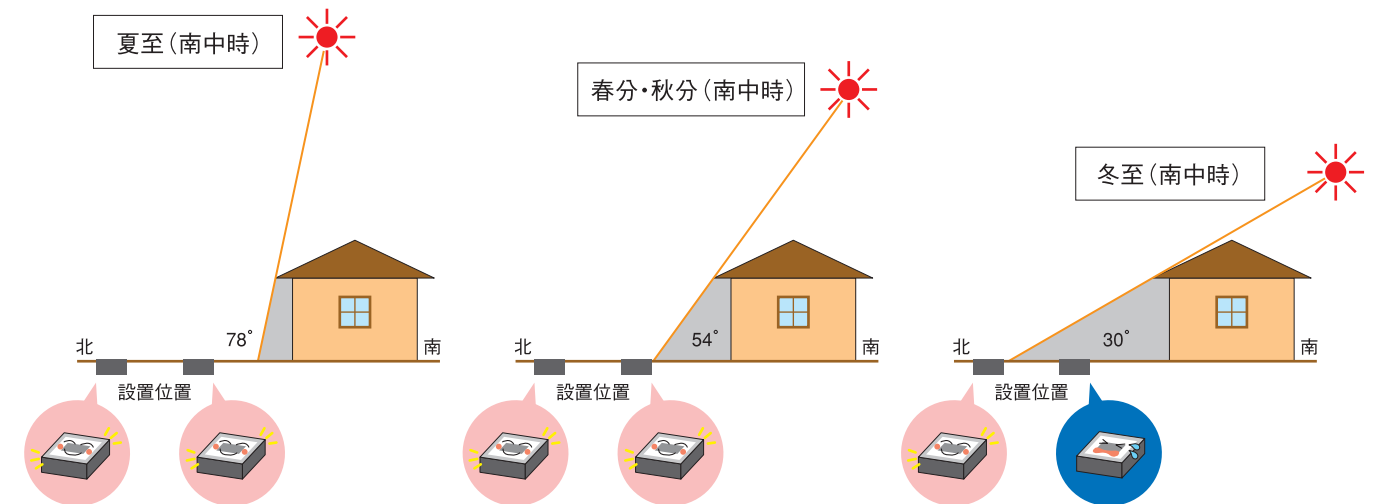
■太陽の動きの季節による変化

太陽は季節によってその南中高度(真南に位置したときの高さ)や、日の出・日の入りの位置を変えていきます。

- 春分(3月21日頃) *日の出の位置は真東になり、日の入りは真西になります。
*昼と夜の長さがほぼ等しくなります。
- 夏至(6月20日頃) *日の出・日の入りの位置は一年のうちで最も北よりになります。
*南中高度は、一年のうち最も高くなります。
- 秋分(9月20日頃) *日の出の位置は真東になり、日の入りは真西になります。
*昼と夜の長さがほぼ等しくなります。
- 冬至(12月20日頃) *日の出・日の入りの位置は一年のうちで最も南よりになります。
*南中高度は、一年のうち最も低くなります。



■季節ごとの建物による日陰の図(北緯36°付近、関東地方)

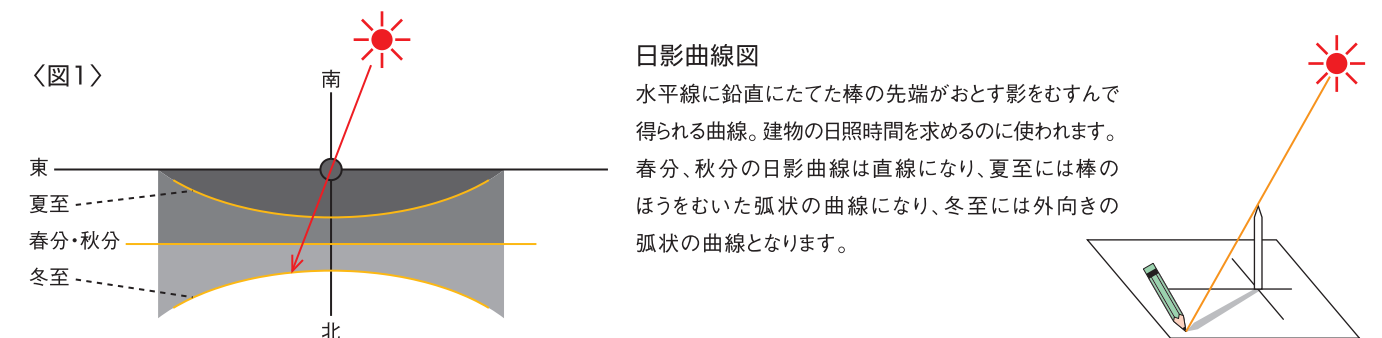


■季節ごとの太陽の位置と時間(北緯36°付近、関東地方)

	日の出	日の入	南中高度(12時)	可照時間(水平面)
春分・秋分	AM6:00	PM4:00	54°	12時間
夏至	AM4:46	PM7:14	78°	14時間25分
冬至	AM7:14	PM4:46	30°	9時間32分

*可照時間は、日の出から日の入までの時間です。
*上記のように冬場は、可照時間が短く南中高度が夏場の半分以下になるため日陰になり易く、エネルギー源である太陽の直射光の確保が難しくなります。

■季節ごとによる、一日の太陽の動きによって変化する日影曲線図



日影曲線図

水平線に鉛直にたてた棒の先端がおとす影をむすんで得られる曲線。建物の日照時間を求めるのに使われます。春分、秋分の日影曲線は直線になり、夏至には棒のほうをむいた弧状の曲線になり、冬至には外向きの弧状の曲線となります。